

環政起第 1534 号-1
平成 29 年 7 月 10 日

米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター
公益財団法人 中海水鳥国際交流基金財団
理事長 伊澤 勇人 様

米子市長 伊木 隆 司

平成 28 年度「米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター」

指定管理者業務評価書

施設名	米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター
施設所管課	市民人権部環境政策課
指定管理者名	公益財団法人 中海水鳥国際交流基金財団
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 33 年 3 月 31 日 (1 年目)

【モニタリング終了後の総評】・事業計画書、収支予算書と実際の業務内容を比較して記入する。
・毎月の「運営状況チェック表（自己評価）」、半年毎の「モニタリング評価表」で確認した内容等を記入する。

【施設所管課】

事業はほぼ計画どおりに実施され、収支も適正な額であった。

鳥インフルエンザの発生など緊急時の対応も適切に行われているほか、学会（ラムサールシンポジウム）の誘致を行うなど、これまでの水鳥公園の運営実績に基づく野生鳥類等の高い専門的知識を十分に発揮し、環境学習の拠点施設として全国に向け情報発信を行い、利用者満足度の高い運営が行われている。

【第三者評価】

事業内容も創意工夫が見られ、来館者への野鳥解説や学校・幼稚園の環境教育など、年齢や目的に応じて専門性を活かした適正な解説を行っており、高く評価する。

情報発信についても、ホームページ・ブログ・フェイスブックなどを活用している点は評価できるが、参加者の少ないイベント企画もあることから、より効果的な情報発信の在り方を検討・実施していくことで、さらなる魅力向上につながるのではないか。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

【第三者評価】

(別紙2)

平成 28 年度下期「米子水鳥公園・米子水鳥公園ネイチャーセンター」モニタリング評価表
〔平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月〕

施設名	米子水鳥公園・米子水鳥公園ネイチャーセンター	
施設所管課	市民人権部環境政策課	
指定管理者名	団体名	公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団
	所在地	米子市彦名新田 665
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 33 年 3 月 31 日	
選定方法	非公募	
施設の設置目的	市民の自然環境に関する意識の向上を図るため。	
主な実施事業	設置目的を達成するため、下記の事業をおこなう。 (1)野生鳥類等の観察並びに野生鳥類等及び自然環境に関する学習活動のための利用に供すること。 (2)野生鳥類等及び自然環境に関する資料の収集及び展示を行うこと。 (3)野生鳥類等の生態に係る調査及び研究を行うこと。 (4)前 3 号に掲げるもののほか、市民の自然環境に関する意識の向上を図るために必要な事業。	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	A	立入調査により確認：適正な事務処理体制を確立するため、職員配置の見直しを行った。
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料等で確認：資質向上に努めている
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	資料等で確認：ホームページや公園だより、マスコミへの情報発信を積極的に行っている
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料等で確認：入館者減については鳥インフルエンザの発生や大雪によるイベント中止などにより入館者が減少。
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	A	資料等で確認：利用者からの意見に適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料等で確認
(2)清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	資料等で確認：基準で定められた業務以外に、自主的に清掃・維持業務を実施している
(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料等で確認
(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料等で確認：建物

	第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		の機能維持のため、適切な営繕を実施している
4 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	資料等で確認
5 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	資料等で確認：現状に即した対策を行っている。

II サービスの質の評価（20点）

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	資料等で確認：アンケートでは、概ね良い評価を得た。
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	立入調査により確認
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	資料等により確認：鳥インフルエンザや大雪対応時に、適切な緊急対応が行われた。
4 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	A	資料等で確認：施設の特性を活かし、野鳥等に関する展示、環境学習、調査研究等が実施されている。

III サービスの安定性の評価（15点）

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2	B	資料等で確認
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3	B	資料等で確認
3 団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4	B	資料等で確認

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>設置目的を達成するため事業計画どおり事業が実施され、利用者からも良い評価を得ている。入館者は減少したが、これは鳥インフルエンザの影響や大雪によるイベント中止などによるものであり、指定管理者の運営に問題があったものではない。むしろ、5月の強風による看板破損や、11月の園内での鳥インフルエンザ発生など緊急時の、市や関係機関への速やかな連絡、迅速な対応は指定管理者として高く評価すべき事項である。</p> <p>また、指定管理者の特性を活かし、8月にラムサールシンポジウムを米子市に誘致するなど、全国に向け米子水鳥公園の情報発信を行っており、総合的にも良好な運営を行っているとは評価する。</p>	<p>合計点 (72)点 / (90)点 ×100 = (80)</p> <p>平均点 (4)点</p> <p>※昨年77点・平均3.9</p>
--	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優 良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良 好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項 目	本年度〔平成28年4～3月〕 A	前年度〔平成27年4～3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	313	311	2、100.6 (%)	
施設利用者数	18,167	19,829	-1,622、91.6 (%)	
施設稼働率	85.7	85.2	0.5、100.6 (%)	
事業開催数	73	68	5、107.4 (%)	

※2 事業収支

(1) 収 入

項 目	本年度〔平成28年4～3月〕 A	前年度〔平成27年4～3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	1,560,510	1,994,080	-433,570、78.3 (%)	悪天候・大雪によるイベント中止など
指定管理料	41,428,000	34,377,280	7,050,720、120.5 (%)	人員体制強化、計画的修繕費増など
自主事業収入	0	0	0	
その他	442,981	170,320	272,661、260.1 (%)	計画的な積立金の取崩し
合 計	43,431,491	36,541,680	6,889,811、118.9 (%)	

(2) 支 出

項 目	本年度〔平成28年4～3月〕 A	前年度〔平成27年4～3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	26,463,661	22,339,928	4,123,733、118.5 (%)	
消耗品費	1,731,889	1,789,162	-57,273、96.8 (%)	
光熱水費	1,761,417	2,006,832	-245,415、87.8 (%)	
共済費	3,690,157	2,994,453	695,704、123.2 (%)	人員体制強化による増
委託料	7,092,294	4,588,042	2,504,252、154.6 (%)	浄化システム改修費の増
租税公課	1,677,300	1,416,000	261,300、118.5 (%)	
修繕費	347,636	387,800	-40,164、89.6 (%)	
その他	667,137	853,451	-186,314、78.2 (%)	通信費の見直し(ゆうメールへの変更)
合 計	43,431,491	36,375,668	7,055,823、119.4 (%)	

※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔平成28年4～3月〕 A	前年度〔平成27年4～3月〕 B	対比 A-B、A/B	備考
① 事業収支	0	166,012	-166,012、0.0 (%)	指定管理料算出時に積立金取崩しを想定
②利用料金比率	3.6%	5.5%	-1.9%、65.5 (%)	管理経費の増額による比率の低下
③人件費比率	60.9%	61.4%	-0.5%、99.2 (%)	
④外部委託費比率	16.3%	12.6%	3.7%、129.4 (%)	システム改修費の増
⑤利用者当たり管理コスト	2,391	1,834	557、130.4 (%)	管理経費増のため
⑥利用者当たり自治体負担コスト	2,280	1,734	546、131.5 (%)	管理経費増のため

①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていようかどうか確認する。赤字の場合は管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎているか、逆に費用がかかりすぎているかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況 (年度毎に実施)

項目	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	備考
①自己資本比率	98.6	99.3	99.4	99.4	99.4	
②流動比率	323.8	742.7	727.0	698.1	622.7	
③固定長期適合率	96.8	96.9	96.4	96.1	97.3	
④総資産経常利益率	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)各数値を見る限り、経営状況に問題なし。					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載。

①自己資本比率

総資産(資産合計)に占める自己資本(純資産合計)の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金(負債合計)に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率 (\%)} = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

$$\text{【公益法人会計の場合：正味財産計} \div \text{資産計} \times 100 \text{】}$$

②流動比率

団体の短期的な支払い能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払いを要する負債を「流動負債」

債」と言い、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払い能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率 (\%)} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】 } 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、または換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率 (\%)} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】 } 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

【公益法人会計の場合：固定資産 ÷ (固定負債 + 正味財産計) × 100】

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけの経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

【公益法人会計の場合：正味財産増加額 ÷ 総資本 × 100】

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

米子水鳥公園入口の看板が暴風により破損した際は、警察、関係者と協力し、被害が最小となるよう見張りや注意喚起を積極的に行いました。

また、飛行船の運航により米子水鳥公園の水鳥の飛来に影響があったことについては、関係団体と緊密に連絡を取り、水鳥への影響の緩和に努めました。

園内で鳥インフルエンザに感染したコハクチョウの回収に当たっては、速やかに園内に消毒槽を設置し、立ち入り禁止区域の設定をいたしました。また、積極的に情報開示に努め市民の不安が広がらないように努めました。

6 利用者アンケートの結果

- 手作り自然教室で創作ができ、水鳥観察もでき楽しかったです。
- 私の町にも鳥がいる公園がありますが、このような施設がないため、とても興味深く楽しかったです。
- 以前、ずいぶん前に来ましたが、その時よりずっと色々子どもたちが楽しめる工夫があって良かったです。自然の大切さを、これからもたくさんの方に伝えてほしいなと思います。1～3歳くらいの子ども連れのお母さんでもゆったりできると思いました。キッズスペースを知らなかったのもっとPRしてもよいと思います。
- 身近で鳥を見ることができ素晴らしい施設だと思います。スタッフの皆さんが丁寧でとても良い所だと思います。
- 鳥のことをあまり知らないのでもっと詳しく案内してもらえて良かったです。職員さんが親切でした。
- 望遠鏡からたくさん鳥を見ることができ良かったです。
- 子どもが虫が大好きで、初めて顕微鏡で虫を見ることができ喜んでいました。
- 子どもが幼稚園で来させていただき、また行きたいと言って家族で来ました。とてもいいところですね。
- その他 イベントが楽しかった。(ダンゴムシレース・うちわ作り・クイズラリー・メダカとり等)
お目当ての鳥を見ることができた。(カワセミ・クロツラヘラサギ等)